# 2015年

## 八王子市民放射能測定室「ハカルワカル広場」

# 総会報告

**総会議事録**
**日時：　2015.　2. 7　(土)10時から11時まで**
**場所：　ハカルワカル広場**
**出席者数　２9名**
出席者氏名　省略

【議事】

全体司会　仲野敦子

１．開会挨拶（西田）

　測定依頼が前年よりさらに減少し、原発への関心が風化し続ける厳しい1年であった。しかし映画会や野外測定会、小冊子の刊行など、関心を持ってもらおうと努力し続けた1年でもあった。「原発の無い社会の実現のため、真実を知り、行動する」を灯台の灯として、末永く測定活動を続けていきたい。維持会員の皆様の力強いご支援とボランティアの方の熱意に感謝し、新たな1年をやっていきたいと思う。

２．2015年度役員・事務局メンバー（紹介・承認）

| | | |
|---|---|---|
| 役　員 | ○西田照子（代表・広報総務担当） | ○相澤武子（会計担当） |
| | ○東　英明(会計監査) | |
| 事務局メンバー | ○西田照子（代表・広報総務担当） | ○相澤武子（会計担当） |
| | ○二宮志郎（測定全般アドバイザー） | ○鵜飼暁（IT担当） |
| | ○仲野敦子（ボランティア担当） | ○槌谷正勝（名簿担当） |
| | ○鈴木映子（イベント担当） | ○野副弘毅（イベント担当） |
| | ○金子恵子（会計担当）（事務局外） | |

3.　議長選出

推薦により、金子恵子さんが選出された。

４．　活動報告(西田)　総会資料（１）を参照

５．　質疑応答

＊（決算について）助成金は別途決算しているが、詳しく説明してほしい。

＊(会計からの答え)パルシステム東京の助成金は申請した用途にしか使えないので、小冊子の刊行に使い、パスシステム東京に決算報告をしている。

６．　（議長）2014年度の活動報告、決算、監査が拍手で承認されました。

７．　活動方針提案(鈴木)　　総会資料（２）を参照

８．　ハカルワカル広場（八王子市民放射能測定室）規約（2015. ２．７より改定）総会資料（3）を参照

９．　質疑応答

（会計より）測定を長く継続していくために、繰越金に手を付けず、収入の範囲で支出する予算案を作成した。＊2015 年 3 月でクロネコメール便が中止されるので、会報発送に郵便の定型外を使用する予定。2015 年予算では、その費用充当に事務費を多く予算化した。また眠っている切手があればご提供をお願いします。

（西田より）2015 年の活動として、八王他団体と協力し、八王子市機会へ「原発再稼働反対の意見書を国に出してほしい」と要請していく予定です。

（二宮）測定件数は減っても質の高い測定活動を目指していく。

１０．（議長）2015年度の活動方針、予算が全員の拍手で承認されました。

１２．議長解任後、閉会挨拶(鈴木)

2015年度も引き続き測定活動、イベント活動を頑張っていきましょう。以上で総会を終了いたします。

（文責　西田　眞）

以上、この議事録が正確であることを証します。　　2015年2月7日

代表　　西田照子　　印（省略）

議長　　金子恵子　　印（省略）

## 総会資料（１）2014年度活動報告（2014.1.1～2014.12.31）

### １）測定活動

１．検体　446件を測定。その全測定データの公開(測定データ公開シート、測定日中にほぼ実行）　（参考：2012年度　1280件　2013年度　927件）

- ○　公開シート上、インターネット上での測定データへのコメント。単に機械が出す数値を伝えるにとどまらないレベル(スペクトルを含む)でのデータ公開

２．定点観測（山地、公園、個人の庭など）

八王子こどもの未来を守る会との共同プロジェクトで同じ公園の土を春、秋２回測定、経年経過をみる。　また山地（八王子の山地を並川氏の協力を得て測定）も経年で行う。定点測定を呼びかけた。

### ２）啓発活動

１．映画会の実施

- ○　第5回ハカルワカル映画会　2014.3.1　「放射線を浴びたX年後」を北野市民ホールにて2回上映。1回目の上映は291席が満員となるほどの盛況。各上映後に、学習会を実施(核実験期の放射能の降下量と福島事故の放射能降下量の比較など）　チケット販売数　477枚
- ○　第6回ハカルワカル映画会　2014.6.21「ジャビルカ」をハカルワカル広場にて2回上映。細川弘明氏を迎え、ジャビルカの背景と現在を解説いただく。
  参加者　37名　参加費　500円
- ○　第7回ハカルワカル映画会　2014.9.20　「ハードレイン」をハカルワカル広場にて2回上映。参加者　40名。　参加費無料
- ○　第8回ハカルワカル映画会　2014.12.6　「シロウオ」を北野市民ホールにて１回上映。学習会には、浜岡原発反対運動をされた伊藤実、真砂子夫妻を迎え、鳴海百合さん、野副弘毅さんとのパネルディスカッション。浜岡原発の実情をお話しいただく。チケット販売数　254枚

２．野外測定体験の実施

- ○　第3回「ハカってワカろう」を2014.5.17　日野市の倉沢の里山にて実施。参加者17人(うち子ども6人)、スタッフ13人　緑の木々に囲まれた環境の下、ピクニック気分で測定会を実施。線量もとても低かった(0.03～0.05μSv)。
- ○　第4回「ハカってワカろう」＋焼きそば大会を、2014.10.19(日)に堀之内のおっさん牧場で実施。多数の参加者をと、日曜日に実施。参加者14人(うち子ども6人)とスタッフ10人。ヤギやウシもいる牧場で、美味しい焼きそばというお楽しみを付けた測定会。線量もとても低かった(0.02～0.04μSv)。

３．定例お茶会の実施

原則毎月第一土曜日に開催。9回実施。前月の測定データの振り返りと二宮さんの準備によるテーマでの話し合い、学びあいを行っている。最近は他の測定室からの参加者

も多い。ボランティアの研修にもなっている。

４．小冊子「放射能ってなんだろう？」の刊行

「子どもが放射能の危険性を知り、自ら身を守ることができるよう」との企画で放射能の基礎知識を解説。A5版24ページ。　編集チーム(石井、イズミコ、鵜飼、二宮、鈴木、西田)が編集を担当。イラストはイズミコさん。パルシステム東京からの助成金50万円を受けて、1万冊を無料配布。

５．太陽光エネルギーを利用したソーラークッカー講習会(小学生対象)

8月28日(木)に子ども6人、大人4人の参加で実施。焼き芋やリンゴのお菓子を作って太陽光のエネルギーの威力を実感できる講習会を実施。講師はボランティアの佐々木さんと仲野さん。子供自身がソーラークッカーを手作り、大喜びでした。

６．マイ箸袋講習会(着物地の端切れ利用で箸袋講習会　講師は小林恵美さん)

**３）広報・宣伝活動**

１．会報の発行　年4回維持会員に向けて郵送。測定データの報告と主な傾向を解説。その他の活動報告。ボランティアの紹介、感想、維持会員の声も掲載。

２.ホームページ、ボランティアBBS を通して、活動を案内、報告。新聞折り込み(映　　画会の宣伝)、市報、情報h紙への映画会の案内掲載など。

**４）組織運営**

１．事務局体制による運営(月1回の事務局会議開催)

２．会計による会計事務(支払い、交通費支給、維持会員更新の案内郵送など)

３．維持会員、ボランティア拡大活動

(現在ボランティア登録数　51名、実際にシフトに入っている人　33名、
維持会員236名　2014.12.31現在)

４．IT(ホームページ、予約・シフトカレンダー) の維持・管理

５．測定室の環境整備・・・・ちゃぶ台スペースを縮小して、座席スペースを拡大するリフォームをボランティアの有志(佐々木、山田さんほか)で実行。

６．手作り品、ゆきのさんジャム、八女茶、有明海苔の販売による資金作り。

**５）個人活動、他団体・グループへの支援及び交流**

１．ふくはち (福島子ども支援八王子) 、「まなび・つなぐ広場」の活動を支援、協力、福島からの自主避難の方の健康相談会(主催：ココカラハッピー)への協力

２．原発反対八王子行動(金八デモ)への協力(HPに情報掲載、電話問い合わせに応対)。

３．放射線量測定装置 (Radilog Walker)の貸し出しにより、他団体、個人の測定協力、測定器 (TC300、TC200、ポリマスター　) の貸し出しで、市民の放射能測定を支援。

総会資料（２）

# 2015年度ハカルワカル広場（八王子市民放射能測定室）の活動方針

１．　子どもたちを内部被ばくから守るために、ボランティアによる測定活動を続け、市民生活に役立つことをめざす。

２．　測定の結果をホームページに全て公開し、市民とシェアする。（客観的事実を知らせる）

３．　測定室独自の研究、調査のための測定活動を行う。（魚などの食品の自主測定、公園・山地の土壌測定を協賛者との共同プロジェクトにより実施）

４．　測定活動のみならず、市民が集う場としての機能を果たす。

５．　原発、放射能の影響についての学習の場をめざす。（月１回のお茶会の開催、野外測定会の開催、映画会の開催など。他団体の見学、学習の場にもする）

６．　会報を年４回発行し、測定データ、放射能の知識などの広報活動を行う。

７．　放射能被害の元凶たる原発に反対する活動の拠点をめざす（金八デモ支援）。測定活動によって、原発被害を監視する機能も果たす。

８．　福島支援（「福島子ども支援・八王子」への協力、自主避難の方の健康相談会への協力など）を行う。

９．　他の測定室との連携をはかる。　また測定室立ち上げの協力を行う。

１０．生産者との連携を図り、また、行政に対し、放射能、原発に関する問題点を指摘し、働きかける。

１１．維持会員、ボランティア、測定依頼者との交流を深める。

総会資料（３）

## 八王子市民放射能測定室（ハカルワカル広場）規約　　2015/2/7改訂

第１条（名称）この会は「八王子市民放射能測定室」（以下「測定室」という）という。
第２条（所在地）本測定室は、八王子市八幡町５－１１　八中ビル２Ｆにおく。
第３条（目的）市民（八王子市民に限らない）、とりわけ子どもたちを放射能の内部・外部被ばくから守るため、食品などの放射能測定を行い、市民と子どもたちの未来を守ることを目的とする。また、測定値は原則として公表し、その結果を市民と共有する。
第４条（事業内容）上記の目的を達成するため、次の事業を行う。
①　食品などの放射能測定を行い、原則として公表する。
②　会報の発行・学習会の実施・情報の提供などを行う。
③　必要に応じて行政や生産者などへの働きかけを行う。
④　その他目的を達するために必要と思われる事業を行う。
第５条（構成員）この会は、上記の目的に賛同する個人会員及び団体会員、および測定ボランティアによって構成される。
第６条（会費）会費の種別を会員・学生会員・団体会員とし、以下の額とする。
①□会員 年１口6,000円　②学生会員 年1口3,000円　③団体会員 年1口10,000円
第７条（測定ボランティア）測定ボランティアは測定とその他運営に必要な業務を行う。また随時研修を受講し、正確な測定ができるようにする。
第８条（組織）上記の事業内容の遂行のために、次の組織を置く。
①　［総会］本測定室の運営にかかわる方針は、年一回開催する総会で決定され、運営委員会に委嘱される。総会の議決は総会出席時の構成員の過半数をもって決定する。
②［運営委員会］　この会の運営は、会員および測定ボランティアによって構成される運営委員会の協議により進められる。日常的運営のために事務局を置く。
第９条（役員）運営委員会には次の役員を置く。
代表（３名まで）　会計（１名以上）　会計監査（１名）
第１０条（規約の変更）必要な規約の変更は総会に諮って変更できる。
第１１条（臨時総会）代表の要請により臨時総会を開催できる。

付則1　この規約は2012年1月１日より施行する。
附則2　本改定は２０１５年２月１５日より施行する。